

2003年度 B l o c k . 5

課 題 N o . 2

「出血傾向の佐野俊彦さん」

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。



2003-B5-2

出血傾向の佐野俊彦さん

シート1

佐野俊彦さんは32歳の男性である。生来健康であったが、3日前に右前腕部の皮下出血斑に気づいた。近くの内科開業医を受診し、血液検査を受けた。検査結果はWBC 21900/ μ l、RBC 243X10⁴/ μ l、Hb 7.6g/dl、Ht 24.8%、血小板 2.3X10⁴/ μ lであった。その結果から、血液内科を受診するよう勧められ今日来院した。

【抽出を期待する事項】

出血傾向

白血球増多

【抽出を期待する事項】
播種性血管内凝固症候群

2003-B5-2

出血傾向の佐野俊彦さん

シート2

出血傾向で緊急入院となった。

入院時現症

全身所見

体温 37.5℃、血圧136/72 mmHg、脈拍 86/分 整、呼吸数22/分
四肢、体幹部に点状出血、紫斑を認める。

局所所見

眼瞼結膜 貧血を認める。

眼球結膜 黄疸を認めない。

口腔 咽頭に発赤を認める。

胸部 心音 清。 肺 ラ音は聴取しない。

腹部 肝脾を触知しない。

入院時検査所見

尿 蛋白 (-)、糖 (-)

血算

WBC 25700/ μ l (好中球 4%、好酸球 1%、リンパ球 15%、単球 2%、
異常細胞 78%)、RBC 220×10^4 / μ l、Hb 6.9g/dl、Ht 22.1%、血小板
 1.3×10^4 / μ l、網赤血球 0.2%

血液生化学

T-P 6.9g/dl、Alb 3.8 g/dl、AST 25IU/l、ALT 19IU/l、
LD 220IU/l (基準値 76-353)

BUN 12 mg/dl、クレアチニン 0.9 mg/dl、尿酸 3.7 mg/dl、

Na 137 mEq/l、K 3.6mEq/l、Cl 103 mEq/l、

CRP 5.3 mg/dl (基準値 0.3以下)

凝固系検査

PT 19.5秒(コントロール 11.9秒)、APTT 36.2 秒(コントロール 31.8
秒)、フィブリノゲン 58mg/dl (基準値 200-400)、FDP 122
ng/ml (基準値 10以下)

【抽出を期待する事項】

播種性血管内凝固症候群

出血傾向の佐野俊彦さん

シート3

ただちに骨髄検査を行ったところ、骨髄では資料のような異常細胞が85%を占めていた。またその際同時に行った染色体検査の結果が後日戻り、染色体異常があったことがわかった。

【抽出を期待する事項】

急性前骨髄球性白血病
染色体異常

【戻るべき事項を抽出】

患者様種別
イベントロギング
用紙欄の予ら患者様

シート4

佐野俊彦さんは、受持医から病気の診断や治療方針について説明を受けた。入院後ビタミン剤の誘導体を内服していた。皮膚の出血斑は徐々に良くなってきた。佐野さんはその後骨髄検査を再度受け、主治医から病気はかなりよくなっているという説明を受けた。しかしこのままだと再発するため、抗癌剤による治療を受けることが必要なことを説明された。同時に抗がん剤の副作用についての説明も、本人が受けた。抗癌剤の副作用としては、吐き気、脱毛などが出現した。

【抽出を期待する事項】

分化誘導療法

インフォームドコンセント

化学療法とその副作用